

中学生パブリック・ディベート大会ルール

1 目的

パブリック・ディベートとは、聴き取りやすく、理解しやすいスピーチを行い、社会の問題を解決することについて、討論するゲームのことです。

このようなディベートを行うことによって、社会の一員としてよりよい社会の考察を深め、脱炭素社会の実現に寄与できる人材の育成を目指します。

また、初めてディベートを行う生徒にも参加可能な大会を目指します。

2 問い

本大会は、「2050年カーボンニュートラルの実現に向けて」に関することで「みんなで考えなければならない問題」を問いとして示します。

詳細は、HP等に掲示しますので、可能な範囲で問いについて調査しておくことを推奨します。

3 チーム

3人から6人でチームをつくります。意見発表、意見交換、意見の再提案のパートに分かれ試合を行います。1～2人での参加の場合は当日他のチームとの合同になる場合があります。

複数で意見発表や意見交換、修正意見の発表のパートを担当できます。

また、参加チーム数が多数の場合は、チーム数調整にご協力をお願いする場合があります。

4 ディベートの流れ

司会者の進行によって発言を行い、決められた時間内に述べます。なお、内容を充実させるために、審判による解説を行います。

① 先攻チームによる意見発表	4分間
② 後攻チームによる意見発表	4分間
審判による解説	2分間
作戦タイム	3分間
③ 先攻チームの意見発表についての意見交換	4分間
④ 後攻チームの意見発表についての意見交換	4分間
審判による解説	2分間
作戦タイム	3分間
⑤ 後攻チームによる意見の再提案	3分間
⑥ 先攻チームによる意見の再提案	3分間

合計 32分間

5 意見発表等の構成について

(1) 意見発表について

次のような構成が考えられます。

- ① ロードマップ …… 何をいくつ、どのような順序で述べるかという構成を知らせること
- ② 問題の解釈 …… 問いの意図や背景、重要な言葉の意味等を明らかにすること
- ③ 基本的な立場 …… 提案する意見を支える理念や価値観を明確に述べること
- ④ 提 案 …… 具体的な根拠を示し、結論として、意見を述べること
- ⑤ 内容の確認 …… 提案を振り返り、重要な内容を強調すること

(2) 意見交換について

次の①～③の順序で1つのまとまりとし、複数回の質疑と意見交換を行うことが考えられます。

- ① 質 疑 …… 相手チームの提案について内容確認等の質問を行い、応答を得ること
- ② 意 見 …… 質問したチームが相手チームの応答に即して建設的な意見を述べること
- ③ 応 答 …… 質問したチームが述べた意見に応じて、相手チームの応答を得ること
- ④ 内容の確認 …… 質疑及び意見交換を振り返り、重要な内容を強調すること

(3) 意見の再提案について

次のような構成が考えられます。

- ① 意見交換の確認 …… 両チームの意見交換の概要を示すこと
- ② 論 点 明 示 …… ①において明らかになった意見の違いや対立点を論点として明確に示すこと
- ③ 意見の再提案 …… 重要な論点に応じて、当初の提案を改善して再び意見を述べること
- ④ 内 容 の 確 認 …… 論点明示と意見の再提案を振り返り、重要な内容を強調すること
- ⑤ 相手チーム及び審判、聴衆に対する謝辞

6 コミュニケーションの責任

- (1) 発言の速さ、声の大きさや声の発音に十分注意して、わかりやすく述べます。
- (2) ナンバリング、ラベリングをしながら意見発表や質問を述べなければなりません。
- (3) 難しい言葉は、わかりやすい言葉に置き換えるようにします。あるいは、丁寧に説明をして使うようにします。

7 試合の評価と順位決定方法について

- (1) 評価の判定は、複数の審判が中立の立場から行います。
- (2) 評価の判定は、試合評価とチーム評価の2つによって行われます。
試合評価とは、両チームが協力してどの程度議論を深めたかどうかについての評価で

す。

チーム評価とは、討論においてどちらのチームが優位であったかについての評価です。

- (3) 試合において、一方のチームが意見を述べられなかったり内容が乏しかったりするなどの理由で、試合評価が低くなる場合があるかもしれません。そのような場合は、相手チームの意見を引き出そうとするなどの努力を評価し、努力したチームの試合評価の点数に加点します。
- (4) 本大会の順位は、試合評価とチーム評価の2つの評価点数を合計した成績得点によって順位を決定します。

予選順位は、成績得点によって決定します。成績得点と同点の場合は試合評価の合計点数によって決定します。さらにそれも同点の場合は、勝敗数で決定します。さらに同点の場合は、チーム評価の合計点数で決定します。それでも同じ場合は、抽選で決定します。なお、予選試合の中で最も優れた試合をベストゲームとします。

8 対立と協調について

伝統的なディベートには、早口で多数の議論を述べて相手チームが時間内に反論できないようにし、勝利を得ようとする戦術が認められる場合があります。相手チームからの反論がないという事実を根拠に、自らの議論を正当化するときです。そこでは、自らの議論を検証する機会を失い、それは粗雑なものにとどまる可能性があります。一方、パブリック・ディベートでは、相互に提案する政策をすぐれたものにするため、建設的な意見交換を行います。そのため、相手チームには十分な検証の機会を与えることとなります。相手チームによる厳しい検証に耐えてこそ、誰もが認め得る議論へと成長するのです。だから、数少ない重要な議論をわかりやすく述べて、相手チームにとって検証が容易になるよう心掛けてください。また、相手チームの議論が不十分であれば、その不足を補うように、支援する意見を述べるようにしてください。なぜなら、互いの政策提案を高めることを目的とし、この目的の達成によりよく貢献することが望ましいからです。相手チームにとっても有益な意見交換を展開することを期待します。

9 その他

- (1) ディベートでは、示された問いとは関係のない意見発表はできません。
- (2) 試合中は、作戦タイムにおいてチーム内で相談することができます。ただし、発言中の選手に対して、他の選手が口頭でアドバイスをすることはできません。
- (3) 試合中、選手は選手以外からのアドバイスを受けることはできません。